行田市の地域密着型サービスの整備方針について

資料１

①地域密着型サービスの整備状況（Ｒ６年度）

○認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	3ケ所
○定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2ヶ所
○夜間対応型訪問介護	1ヶ所
○小規模多機能型居宅介護	2ヶ所
○通所介護（デイサービス）	8ヶ所
○地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	１ヶ所

②本市の実情・課題等　（第9期計画より）

◆人口構造の変化と影響◆

○2040年(令和22年)にかけて、85歳以上人口の急増と生産年齢人口の減少が同時進行
→需要(支えられる側)と供給(支える側)のバランス悪化
→介護人材の確保が困難に

◆ニーズの変化◆

○複数疾患を有する高齢者、医療と介護のニーズを有する高齢者数の増加
○認知症高齢者数の増加
○生活支援を含む多様なニーズを有する高齢者の増加

◆在宅（施設介護サービス受給者以外）の要介護認定者数

○2,386人（全体の80.2%）＊令和5年8月現在

◆市外の認知症対応サービス提供施設への利用希望者が増加傾向

○Ｒ４　１件　→　Ｒ５　３件

③サービス提供体制の方針　（第9期計画より）

⑴ 医療、介護、生活支援サービスのニーズを併せ持つ高齢者が地域で暮らしていくためには、居宅において介護及び医療・看護ケアサービスをスムーズに提供できるサービスが必要である。

↓

看護小規模多機能型居宅介護　Ｒ７年度（新規１事業所）

⑵認知症の方及び介護者が地域で暮らしながら安心して日常生活を営むことができるようにするサービスが必要である。

↓

認知症対応型通所介護　Ｒ７年度（新規１事業所）